

2 NTTグループの総合ICT事業をソフトウェア技術で牽引

コムウェア新宣言実現に向けて

NTTコムウェアのNTT IT 戦略事業本部では、コムウェア新宣言の実現に向け、ドコモグループの事業拡大をITで牽引、全体戦略を立案する組織としてさまざまな取り組みを行っている。“Fun to Challenge”（挑戦を楽しむ）をコンセプトに、オフィスフロアもリニューアルし、ハイブリッドワークの価値を最大化するワークスタイルを実践。フロア内には、ドコモグループのサービス、多階層VR空間システムやテレプレゼンスアバターロボット等を体験できる場“Show Space”も設け、サービス理解、ビジネス検討に活用している。

ドコモグループビジネス拡大に向けて

ドコモグループが注力するスマートライフ事業、法人事業、通信事業の各領域においてさまざまな取り組みを進めており、実績と信頼を積上げている。

スマートライフ事業では、当社で育成した多数のアジャイル人材が多くのスクラム開発に参画、決済系のサービス開発等にも本格的に参画している。また、大規模アジャイル推進により新たな価値提供を始めており、今後は、XRやWeb3.0等を活用した成功事例の創出にも取り組んでいく。

法人事業では、社会課題解決にむけたソリューションを幅広いお客さまへ提供するためNTTコミュニケー

ションズ（以下、コミュニケーションズ）のアカウントと連携し、先進的パッケージ等を駆使したSIによる価値提供の強化を図る。あわせてNTTドコモ（以下、ドコモ）、コミュニケーションズと当社のソリューションを組み合わせた新たなサービスの創出をすすめていく。

通信事業では、顧客・ユーザ体験（CX/UX）価値向上に向けたフロントチャネル等の検討にも貢献していく。

ドコモグループとしてのシナジー最大化、CX/UX向上、競争力向上をめざし、3社（ドコモ・コミュニケーションズ・コムウェア）で、CIOとIT組織長が一体となり、IT戦略について議論を進める場にも参画しており、「ドコモグループのお客さまの新しい価値をNTTコムウェアがIT



NTTコムウェア株式会社
代表取締役副社長
副社長執行役員
NTT IT 戦略事業本部長
テレコムビジネス事業本部長
柏木 利夫氏

で実現する」という気概を持って、役割を果たしていく。

社会インフラ高度化に向けて

通信インフラを支える企業として、昨日と同じ今日を守ることに価値があり、ソフトウェア開発力をはじめとする技術力で今までの“当たり前”を守っていくことが、当社の使命のひとつであると考えている。

従来の通信インフラを維持しながらさらなる高度化をめざす上で、PSTNマイグレーション完遂に向け多くの通信設備が見直しになる。それに伴い多くの基幹システムも見直すこととなるため、円滑に切り替えられ



図1 オフィスフロアリニューアル（お客さま、社員同士のコミュニケーションの場
UrbanForestCafe エリア 自由なワークスタイル・自然な交流によりフラットなつながりを促進）

るよう万全の体制で取り組んでいく。

次のステップとしては、固定と移動を意識することなくサービス提供を可能とする Operation Support System (OSS) 実現をめざし、そして、その先の IOWN 時代の OSS 領域のありかたを描き NTT (持株会社)、ドコモ、コミュニケーションズと議論を重ねながら具体化を進めている。

自らの DX からお客さまの DX へ

当社の発足当初は、業務に必要なデータの記録、参照、更新をする SoR (System of Record) により情報を管理し、業務を効率化することが IT 活用の主眼だった。昨今ではお客さまからの見え方や使い方を重視する SoE (System of Engagement) で生きたデータを投入しやすく、見えやすくすることが求められるとともに、蓄積したデータを分析することでさらなる顧客理解やマーケティングに活用する SoI (System of Insight) が重要になっている。

日々の業務で扱われるデータが正しく連携され、それにお客さまや利用者の生きたデータが統合され、さまざまな視点で可視化できれば、隠

れたファクトが見えてくる。ファクトに基づき仮説を設定し、戦略を組み立てて行動することが、より価値のある事業活動につながると考え、経営者だけでなく、ビジネスの現場の誰もが真のファクトが見える仕組みを提供し続けるようにする。NTTグループの DX に向けた共通の IT システム導入もその一環としてグループ各社と連携し開発、導入を行っていく。そして、その成果をソリューションビジネスとして展開していく。

ドコモグループの一員として社員一人ひとりが貢献するために

より良い働き方ができるようになれば、個人もグループもさらに大き

く成長できると考える。未来を見据え行動を起こすことがグループの変革に、その先の社会課題の解決につながると思え、新たな価値発揮に向けワークスタイルやコミュニケーションの変革にも引き続き取り組む。

自身が価値のある膨大な情報ストックを活かし「データを重視し、ファクトに基づき動く」ことで自らの DX、さらにはお客さまの DX を実現していく。

これまで以上にドコモグループおよび NTT グループの期待に応え事業の成長に貢献するために、社員一人ひとりが専門スキルを有し、ドコモグループ行動原則に則って「あなたと世界を変えていく。」を体現できる存在となる必要がある。

価値観が激変し不測の事態が起きる時代においては、フォアキャストだけでは状況に翻弄される。将来の社会の姿からバックキャストして、

幅広い知識と柔軟な思考、多様な視点を持ち、企業としての社会的価値を考え、事業に反映していくことが必要となる。それらを実現するために NTT コムウェアとして、社員一人ひとりが日々考え、取り組みを具現化し続けていく。

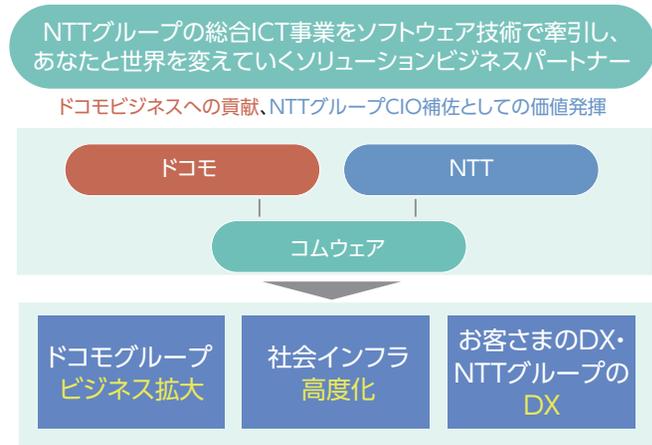


図2 コムウェア新宣言 注力方針

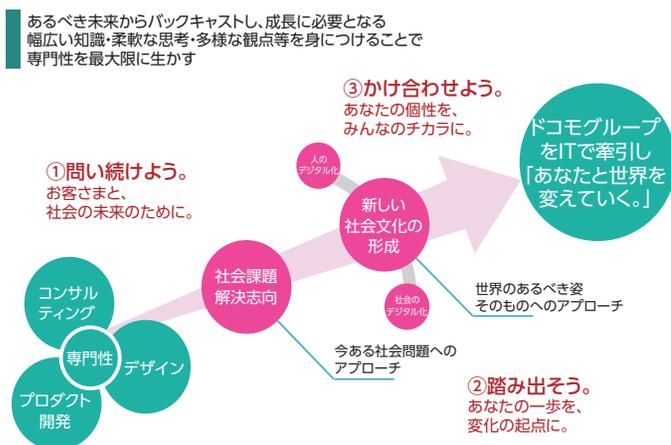


図3 めざす姿